

# 広島カキFIP（垂下式）

## 概要

日本のカキ生産量の2/3を占める広島県の海域は、地形、潮流、水温などカキが大きく成長できる条件がそろった日本でも有数のカキの産地です。広島県でもトップクラスの生産量を誇るのが倉橋島海産株式会社。1962年創業時からカキの生産を始め、現在は広島湾南西部と中部5つの漁場で、生産から加工までを一貫して手がけています。

これまで食の安全・安心に注力してきましたが、環境に配慮したカキの生産を日本一の産地である広島でまずはFIPを始めたいとの思いから、長年の販売先でもあり近年積極的にサステナブル・シーフードをマーケットに広めている日本生協組合連合会（JCCU）と共にFIPに取り組むことになりました。

本FIPの改善事項は、カキ養殖による絶滅危惧種（スナメリやアカウミガメなど）や周囲の生態系への影響を把握するためのモニタリングの実施やそれを科学者と協働する体制づくり、長期的かつ予防的な管理目標を組み込んだ管理の導入などです。

## FIPの目的

2022年までにMSC認証を取得する。

## FIPのタイプ

包括的

## FIPのステージ

ステージ2（プロジェクトの立ち上げ）

## プロジェクトの開始と完了

2020年1月～2021年2月

## 次回の報告期限

7/1/2020

## 魚種

（一般名）：マガキ

（学識名）：*Crassostrea gigas*

## 漁法

垂下式

## 漁獲場所

FAO漁獲統計海区

61（太平洋、北西）

排他的経済水域（EEZ）

国：日本

## 漁獲量

FIPによる生産量：860 MT

総生産量：20,000 MT

## 進捗一覧

漁業状況: 本 FIP は 16 中 28 の指数を考慮している

現在の状況:



FIP 開始時の状況:

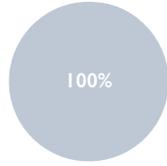


FIP の進捗:

進捗評価



完了したアクション



●完了 ●未完了

次回の報告期限:

7/1/2020

プロジェクトの  
完了目標:

2/1/2021

追加の取り組み

トレーサビリティ

## FIPのリード

組織名: 株式会社シーフードレガシー

組織タイプ: 企業

連絡先: 村上春二

Eメール: [shunji.murakami@seafoodlegacy.com](mailto:shunji.murakami@seafoodlegacy.com)

ウェブサイト: <https://seafoodlegacy.com/>

## FIPへの参加者

倉橋島海産株式会社

日本生活協同組合連合会

オーシャンアウトカムズ